

H31 5,548億5千万円 (H30 5,487億55百万円) +1.1%

当然減要素を除く政策経費と比較 (経済対策緊急融資除き)

H31政策経費2,551億円 (H30 2,411億円) +5.8%

14ヶ月予算5,749億円 (前年度5,692億円) +1.0%

14ヶ月予算 政策経費2,751億円 (前年度 2,615億円) +5.2%

★当初予算で2年連続増、さらに政策経費では大幅に増額
⇒平成から新時代への節目の年度に相応しい積極型予算

H30 2月補正 200億8千3百万円
(H29 2月補正 204億2千9百万円)

>人件費: 1,317億円 (H30 1,322億円) Δ0.3%
>公債費: 903億円 (H30 918億円) Δ1.6%

とやま未来創生戦略枠 (26.0億円) (H30 2月補正 地方創生拠点整備交付金事業等 (6.1億円) との合計…32.1億円)

「とやま未来創生戦略」に基づく人口減少対策や地域活力創出を図る施策

- ① **結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進** とやま醸造・発酵オープンラボ、県立大学研究拠点等
幼児教育・保育の無償化など経済的負担軽減、放課後児童クラブ支援事業、家事・育児分担キャンペーンなど
- ② **産業・地域経済の活性化**
くすりやアルミのコンソーシアムの推進、デザイン交流拠点の形成、創業支援施設等の整備、富山のさかなブランド化など
- ③ **若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり**
大都市圏の大学と連携したUIターン促進やTターン・県内定着の推進、県立大学の新棟整備と看護学部開設 など
- ④ **観光の振興、移住・定住の環境づくり**
東京圏からの移住・創業支援、東京・大阪での移住・転職フェアの開催、富山くらし・しごと支援センターの体制強化、日台観光サミット、「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会の開催、「ツーリズムEXPOジャパン2019OSAKA」出展 など
- ⑤ **女性が輝いて働ける環境づくり**
女性就業支援センターの開設、子育て女性の就業促進、煌めく女性リーダーによる出前講座、イクボスの推進 など
- ⑥ **高齢者や障害者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現**
専門的知識・技術等を有する高齢者の就業と県内企業の人材確保支援、障害を持つ学生の就職支援 など
- ⑦ **多様な人材の確保と労働生産性の向上**
人材確保をワンストップで支援する人材活躍推進センターや外国人ワンストップ相談センターの創設 など
- ⑧ **交通ネットワークの整備と活力あるまちづくりの推進**
富山きとときと空港の利用促進、バスロケーションシステム導入とCATVを通じた情報提供、先駆的な空き家活用の推進 など
- ⑨ **健康でともに支えあい安心して暮らせる社会の形成**
生活習慣の改善など健康づくりの推進、医療提供体制の整備など認知症対策の強化、介護人材の確保 など
- ⑩ **未来を担う人づくり**
小中学校や県立高校におけるICT教育の推進、スクールサポート・スタッフや部活動指導員の配置拡充 など

とやま新時代重点政策枠 (60.6億円)

活力とやま [17.6億円]

- ① **グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保**
IoTやAIなど第4次産業革命への対応、ヘルスケア産業の創出、ものづくり総合見本市の開催、小規模事業者の販路開拓促進 など
- ② **生産性・付加価値の高い農林水産業の振興**
「富富富」のブランド確立、農林水産物の戦略的な輸出促進、森林経営管理の推進、キノコ栽培漁業の推進 など
- ③ **環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤等の強化**
新幹線敦賀延伸に向けた戦略の調査・検討、富山空港と飛騨・高山エリアとのアクセス改善、伏木富山港の利用促進、5G利活用推進など
- ◆ **防災・減災の緊急対策をはじめとした社会資本の整備等**
 - ◇公共・直轄: 711億円 (H30 605億円、+17.5%)…H30 2月補正 (160億円) との計871億円 (H30 + H29 2月補正 749億円、+16.3%)
・国道8号豊田新屋立体や高岡環状線等の道路整備、地久子川や鴨川等の河川改修、富山駅付近連続立体交差等の整備促進、国営附帯県営農地防災事業 (庄川左岸地区)、ため池の改修、流木対策の実施 など
 - ◇主要県単: 147億円 (H30 138億円、+6.4%)…H30 2月補正 (19億円) との計166億円 (H30 + H29 2月補正 156億円、+6.5%)
・地方創生推進基盤整備事業、県単独道路・河川等災害未然防止対策事業 など
- ④ **観光振興と魅力あるまちづくり**
立山黒部の世界ブランド化 (ロープウェイ整備環境調査、黒部ルート一般開放・旅行商品化準備等)、富山湾岸サイクルツーリズムの推進 など

未来とやま [18.5億円]

- ⑤ **結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくりー県民希望出生率1.9へー**
自然な出会いと結婚をサポート、民間企業と連携した県庁内保育所の設置、保育士確保対策、児童虐待防止対策の強化 など
- ⑥ **真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上**
県立学校の空調整備やトイレ洋式化など教育環境の充実、県立大学の教育研究体制の充実、移動文学館の実施 など
- ⑦ **文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進**
シター・オリンピックス、「国際工芸アワードとやま」(仮称)、とやま・なんと国体2020の開催、東京オリンピック聖火リレー開催準備 など
- ⑧ **ふるさとの魅力を活かした地域づくり**
総合的な中山間地域の振興対策、侵入防止柵の整備等鳥獣被害防止対策の推進、立山砂防の世界的価値の発信 など

安心とやま [15.7億円]

- ⑨ **いのちを守る医療の充実と健康寿命日本一**
難病診療連携拠点病院の整備、事業所におけるがん検診の受診強化、健康寿命日本一を目指す総合対策の推進 など
- ⑩ **住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の推進**
訪問看護ステーションへの支援体制の強化、パーキングパーミット制度の導入、児童発達支援センターの体制強化 など
- ⑪ **環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり**
商慣習見直しの推進など食品ロス・食品廃棄物削減対策、自然環境の保全、海岸漂着物対策の推進、地熱資源開発調査など
- ⑫ **災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり**
防災・危機管理センター(仮称)の整備、防犯カメラ等の設置促進、住宅耐震改修の推進、交番・駐在所の安全対策 など

人づくり [8.7億円]

- ⑬ **すべての人が活躍できる環境づくり**
人生100年時代に対応したリカレント教育、とやま起業未来塾、とやま観光未来創造塾、グローバル人材の活躍促進 など
- ⑭ **富山県や日本を担う子どもの育成**
17歳の挑戦の実施 (高校生のキャリア教育充実)、幼児教育センターの設置、中高生への「ものづくり産業」の魅力発信 など
- ⑮ **若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進**
東京での若者向け起業家育成プログラム実施によるUIターン起業の促進、地域での多様なインターンシップの創出 など
- ⑯ **女性の活躍とチャレンジへの支援**
中小企業における女性活躍の促進、女性のキャリアデザイン形成への支援、働き方改革・女性活躍応援サポの開設 など
- ⑰ **エイジレス社会実現と「かがやき現役率」の向上**
「ねんりんスポーツフェスタ」の開催による高齢者の運動習慣定着、エイジレス社会リーダーの養成と活動実践への支援 など

行財政改革等の推進

構造赤字(400億円)は解消(H28)できたが、社会保障関係費の増大など、依然として国・地方ともに厳しい財政環境

◆ 県税収入は、企業収益の改善や地方税の偏在是正などにより、リーマンショック以前の水準を確保
〔県税の状況※〕 H29 当初1,308億円→H30 当初1,335億円→H31 当初1,382億円 (参考)H28 決算1,354億円
(※実質税率ベース、地方法人特別譲与税を含み、地方消費税率引上げ分(5%→10%)を除く)

リーマンショック前の水準

扶助費
H28 567億円
→H30 579億円
(+12億円)

◆ 社会保障関係費は、H16(289億円)に比べ、約2倍(H31 579億円)に達し、今後も増加する見込み

地方一般財源総額の確保

- ◆ 地方財政対策において、地方一般財源総額は前年度を上回る額(+0.7%)を確保。本県では、県税収入の増に加えて、地方交付税も増え、臨時財政対策債を減少させた上でも実質的な一般財源は約15億円増加(+0.5%)
- ◆ 地方法人課税の新たな偏在是正措置については、全国知事会において提言を取りまとめ、政府に働きかけた結果、2019年10月に新たな措置が講じられることが決定 (本県では2020年度以降、約50億円程度の増収が見込まれる)

行政改革による人件費の削減等

- 【職員数の削減】
- ◆ 一般行政部門…H17からH26までの10年間(H16比)で削減目標20%(832人)を上回る21%(872人)の削減を達成
⇒ H31までで**23.4%(972人)の削減見込み**
- ◆ 普通会計ベース(一般行政部門、教育部門、警察部門等)では、H17からH31まで(H16比)で**10.7%(1,689人)の削減見込み**
- 【人件費の抑制効果】
- ◆ 普通会計…職員1,625人削減、**人件費累積削減効果(H16比)は約1,832億円の見込み** (H17～H30)
- ◆ 一般行政部門…定数抑制と給与水準引下げによりH30人件費はH16比で**△約88億円(△29.3%)**の見込み(単年度ベース)

県債残高の縮減と財政調整基金等の残高確保

- ◆ 県債残高は昨年度に引き続きH31末においても低減見込み(臨財債含む)
⇒H31末県債残高見込み**1兆1,990億円**(H30末見込み1兆2,201億円、**△211億円**)
〔参考〕 H31末国債残高見込み: 897兆円 (H30末見込み880兆円、**+17兆円**)
- ◆ 財政調整基金と県債管理基金(満期一括償還分除く)を取り崩さず予算を編成
⇒H31末残高見込み**157億円**(標準財政規模(H30 2,976億円)の5%程度を確保)

災害や経済情勢急変への備えとして確保

